



下呂市 GERO CITY 議会だより assembly

平成28年8月1日
第49号



御嶽山山開き（濁河温泉登山道入り口）

6月5日御嶽山の安全を祈願し山開き式が開催され、小坂獅子舞保存会、湯屋富士神社鬨鶏楽の露払いでお旅が行われました。

CONTENTS

- 議員紹介 (P 2)
- 新体制で3カ月が経過 (P 3 ~ P 5)
- 6月定例会の報告 (P 6 ~ P 9)
- 一般質問で12人が市政を問う (P 10 ~ P 15)
- 議会を傍聴して・9月定例会日程・編集後記 (P 16)

GERO CITY assembly



11番 吾郷 孝枝
萩原町桜洞
謡、生け花、短歌



7番 宮川 茂治
森
卓球、グラウンドゴルフ



3番 田中 副武
小坂町大垣内
家庭菜園、日曜大工



12番 中島 新吾
金山町菅田桐洞
野草観察



8番 中島 博隆
金山町菅田桐洞
釣り、家庭菜園



4番 今井 政良
乗 政
グラウンドゴルフ、
ゲートボール



13番 中島 達也
東上田
歴史探訪、
高校野球観戦



9番 伊藤 厳悟
萩原町尾崎
山林散策、ドライブ



5番 今井 政嘉
小 川
ドライブ



1番 尾里 集務
馬瀬中切
釣り、狩猟



14番 中野 憲太郎
萩原町萩原
スポーツ観戦



10番 一木 良一
乗 政
おいしいお米づくり、
歌舞伎鑑賞



6番 各務 吉則
小坂町門坂
釣り、骨董収集



2番 中島 ゆき子
金山町大船渡
料理、バラの栽培

議員14名を 紹介します

- ・番号は議席番号
- ・下段は趣味

新体制で3カ月が経過

平成28年4月27日に開催された第2回臨時会で、議長、副議長、各委員会が決まり新たな体制でスタートしました。それぞれの活動方針などをお知らせします。



御嶽山山開き式（6月5日）で挨拶をする中野憲太郎議長

議長 中野 憲太郎

4月臨時会において、議長に選出され、市議会運営の重責を担うこととなり、身の引き締まる思いであります。

本年4月におきました熊本地震では、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。余震が続く中、避難所や仮設住宅、車の中で生活を続けている多くの皆さまは、「ふるさとを離れたくない」といった思いで、助け合いながら苦労を共にし、復興に向けて頑張ってみえます。

下呂市民も「この住み慣れた下呂市、大好きな下呂市、緑豊かなこのふるさとを離れたくない」と言う気持ちは同じだと思います。当市も阿寺断層帯があり、今後30年以内に地震が発生する確率は11%と言われています。自助・共助・公助による災害に強いまちづくり、若い方がずっと下呂市に住みたいと思えるまちを目指し、市長、執行部と共に14名の議員で頑張つてまいります。市民の皆さま方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとします。



議会への要望を聞く今井政嘉副議長

副議長 今井 政嘉

こんにちは、今年度の改選で副議長を拝命しました今井政嘉です。

下呂市議会では、昨年議員定数を削減しました。また議会の見える化としてこれまでに議会報告会を市内5カ所で開催してきました。その他にも各定例会ごとに議会だよりを発行していますが、昨年開催された報酬審議会ですらなる見える化の提言をいただきました。今年度は、議会改革特別委員会で協議を重ね、今以上に市民の皆さまに分かりやすい議会運営を目指します。

また、人口減少問題は、喫緊の課題と捉え、行政で出来る事、市民の皆さまができることを明確にし、下呂市に住み続けたい、下呂市で住みたいと思ってもらえるまちづくりを市長、執行部と共にすすめてまいります。

今年度は、議会報告会のみではなく、市民の皆さまとの意見交換がより活発に行えるような仕組みづくりを行います。市民の皆さまと一緒に、郷土に誇りと夢を持てる下呂市づくりを共に進めて行きたいと思えます。

皆さまの一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

各委員会の委員・主な活動



委員会の様子

監査委員

議員選出
中島 博隆

議会運営委員会

定数 7人

委員長 伊藤 厳悟
副委員長 中島 新吾
委員 田中 副武
今井 政良
各務 吉則
一木 良一
中島 達也

総務教育民生 常任委員会

定数 7人

委員長 今井 政良
副委員長 田中 副武
委員 中島 ゆき子
宮川 茂治
中島 新吾
中島 達也
中野 憲太郎

活動方針

少子高齢化・人口減少問題は早急に効果的な対策が必要です。結婚・出産・育児・教育・福祉・医療などソフト面の充実を図るため、移住定住促進、医師の招へい、まちづくりなど、地域の形態を構成するあらゆる政策を進めなければなりません。

少子化対策として、出産・子育ての対応策を提案します。また、福祉・医療については、医師会や病院と連携を図り、安心して暮らせるまちづくりを進めなければなりません。そのために、先進地の成功事例などの調査を通じて、下呂市に適した最も効果的な方法を研究し確立してまいります。

産業経済 常任委員会

定数 7人

委員長 各務 吉則
副委員長 尾里 集務
委員 今井 政嘉
中島 博隆
伊藤 厳悟
一木 良一
吾郷 孝枝

活動方針

下呂市における産業・経済振興策を調査研究し、一層の発展強化を目指します。

今年度は、国の機関である岐阜森林管理署、県の下呂農林事務所、下呂土木事務所と連携を密にし、意見交換会を持ち、政策立案を進めていきます。また、人口減少対策、地域産業の活性化、雇用、移住定住対策など新しいまちづくりのため、市内の施設を視察したり、地域の課題である鳥獣害対策、捕獲鳥獣の処理施設の先進地視察など調査研究を行います。

庁舎・振興事務所整備、 旧下呂温泉病院跡地等 活用検討特別委員会

定数 13人

委員長 一木 良一
副委員長 吾郷 孝枝
委員 議長を除く全員

活動方針

今年度、庁舎・振興事務所整備計画については①下呂庁舎は耐震補強のため設計業務を委託②萩原庁舎の移転先となる星雲会館は耐震補強し改修工事を実施③下呂総合庁舎内には2部局を配置するため設計業務を委託、改修工事の実施④小坂振興事務所は耐震補強のため設計業務を委託⑤下呂振興事務所の移転先となる下呂市民会館は改修工事を実施⑥馬瀬振興事務所は耐震補強のため設計業務の委託を行います。これら事業の実施予算は、今年度4億3400万円です。行政各部局は平成32年度までに20部局から16部局へ再編する予定と説明を受けています。また、旧下呂温泉病院跡地などの活用は、大まかな「たたき台」としての計画であるため、各種団体や市民の皆さまのご意見を拝聴し、慎重に検討を重ねながら進めてまいります。

予算特別委員会

定数 13人

委員長	伊藤 厳悟
副委員長	今井 政良
委員	議長を除く全員

決算特別委員会

定数 13人

委員長	田中 副武
副委員長	今井 政嘉
委員	議長を除く全員

議会改革 特別委員会

定数 5人

委員長	中島 博隆
副委員長	中島 新吾
委員	尾里 集務 田中 副武 今井 政嘉

活動方針

当委員会は、議会の公正性、透明性を確保するため、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議

会を目指し設置されています。昨年度は議長を除く全員で、議員定数、議員報酬の検討、また市民と議会との懇談会など活動が続けられました。今年度は5名の委員定数としましたが、昨年度に引き続き、市民との懇談会、議員報酬の見直し、議会基本条例、ＩＴ関連の活用など、今までの議会活動の振り返り、さらに議会活動の向上を図るために議会改革に取り組んでまいります。皆さまの貴重なご意見をよろしくお願いします。



市民と議会の懇談会

飛騨農業共済議員

議員

中野憲太郎
今井 政良

濃飛横断道・ リニア特別委員会

定数 7人

委員長	中島 達也
副委員長	田中 副武
委員	中島 ゆき子 今井 政良 宮川 茂治 一木 良一 吾郷 孝枝

活動方針

今年3月、郡上市和良から下呂市保井戸区間8・1kmが供用開始され郡上八幡ICから下呂温泉までが約25分短縮されました。また中津川市美恵橋から中央自動車道接続約5kmが新規事業化しています。今後、当委員会では中津川市、郡上市、東白川村の各議会と連携強化を図ります。また、沿線市村で組織される濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会と一丸となり関係機関に働きかけ、調査区間となっている郡上八幡から和良間の整備方針の早期決定、下呂市から中津川市美恵橋間の調査区間の指定に向け活動してまいります。関係の議会との会議を7月22日に開催しました。

議会報編集 特別委員会

定数 5人

委員長	中島 ゆき子
副委員長	尾里 集務
委員	今井 政良 今井 政嘉 各務 吉則

活動方針

議会が市民の皆さまの身近な存在となるよう、議会報を通じて活動の内容をお知らせします。今年度は、掲載内容の見直しをしながら「開かれた議会」を目指して、次の活動を行います。

- ①議会報の名称を「下呂市議会だより」として、年4回開催する定例会に合わせ、8月・11月・2月・5月の年4回発行し、下呂市内の全世帯に配布します。
- ②「下呂市議会だより」が、下呂市民に親しまれ、分かりやすく、読みやすいものとなるよう編集に努めます。
- ③議会情報の提供にあたっては、公正中立な立場を堅持した内容とし、定例会の報告に加え、議会閉会中の各委員会の活動についてもお知らせします。

6月定例会の報告

6月3日から24日まで、平成28年第3回下呂市議会定例会が開催されました。初日には就任後初めてとなる服部市長の所信表明が行われました。一般質問には12人の議員が登壇し、それぞれに市政をただしました。最終日には服部市長の韓国出張問題などに対する問責決議が提出され賛成多数で可決されました。

上程議案と審議結果

◎全会一致で可決された議案 【市長提出議案】

議 案 名	審 議 結 果
人権擁護委員候補者の推薦について 井上和美さんを人権擁護委員候補者として推薦	可 決 (全会一致)
下呂市公平委員会委員の選任について 全3件 田口則夫さん、曾我博男さん、西田孝之さんを公平委員会委員として選任	
財産の取得について 行政ネットワーク機器を購入	
財産の取得について 地方公共団体情報セキュリティ強化対策機器を購入	
市道の路線変更について 一般県道落合飛騨小坂停車場線の一部が移譲となるため、市道の路線を変更	
下呂市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について 傷病補償年金と同一の事由により、厚生年金保険法による障害厚生年金等が併給される場合の調整率を変更	
下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 介護認定調査員、介護支援専門員、保育園嘱託医師・嘱託歯科医師の報酬の支給方法及び額の規定方法を改めるもの	
下呂市農業研修生宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 馬瀬水木教員住宅を農業研修生の宿泊施設として活用するための条例改正	
下呂市農林漁業研修施設条例の一部を改正する条例について 公の施設見直し方針に基づき、桜洞集会所を桜洞区に譲与するための条例改正	
財産の譲与について 桜洞集会所を桜洞区に譲与するもの	
平成28年度下呂市一般会計補正予算（第2号）	
平成28年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	
平成28年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第1号）	
平成28年度下呂市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	
平成28年度下呂市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	
平成28年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第1号）	
平成28年度下呂市水道事業会計補正予算（第1号）	
平成28年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第1号）	
平成28年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第1号）	
4月定期異動に伴う職員給与費・共済費・退職手当組合負担金の補正 他（P8参照）	
星雲会館耐震補強工事（建築）請負契約の締結について 星雲会館耐震補強工事（建築）の請負契約を金子工業株式会社と締結	
平成28年度下呂市一般会計補正予算（第3号） 萩原南中学校統合改修事業の補正 他	

◎賛否が分かれた議案 【①②は市長提出 ③は議員提出 ④は請願】

○…賛成 ×…反対

議 案 名		議 員 名												審 議 結 果
		尾里 集務	中島 ゆき子	田中 副武	今井 政良	今井 政嘉	各務 吉則	宮川 茂治	中島 博隆	伊藤 嚴悟	一木 良一	吾郷 孝枝	中島 新吾	
①	平成 28 年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正 予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議 <



市道に移譲される小坂駅前の県道



農業研修生宿泊施設として利用される水木教員住宅(馬瀬)

◎報告案件

議 案 名
平成 27 年度下呂市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について 平成 27 年度一般会計予算の翌年度繰越額 341,699,000 円を報告

『下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について』では、「一般質問でも特別養護老人ホームの待機者の問題がありました。今回改定で優先入所判定委員会委員を削る理由について」の質問に「平成 27 年度介護保険制度改正に伴い、各施設で入所検討委員会が設けられています」と説明がありました。

以上審査の結果、付託された 2 議案は可決すべきものと決しました。

6 月 20 日、当委員会に付託された 2 議案について審査を行いました。審査の内容は次のとおりです。

『下呂市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について』では、委員から調整率について質問がありました。執行部からは「公務災害補償による傷病補償年金が同じ事由により厚生年金が併給される場合に、傷病補償年金の部分で減額するのが調整率です。今回 0.86 から 0.88 に上がっており、減額分が多少緩和された」と解釈してください」と説明がありました。

**付託された 2 議案を
可決すべきものに**

**総務教育民生
常任委員会**

産業経済常任委員会

付託された4議案全て可決すべきものに 請願1件は不採択とすべきものに

6月21日、当委員会に付託された4議案及び請願1件について委員会を開催し審査をしました。

『下呂市農業研修生宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について』は、馬瀬水木教員住宅を、農業研修生の宿泊施設として活用するための

条例改正です。委員からは、「他の地域にも使用していない教員住宅はあるが」との質問に「焼石や菅田にもこういった教員住宅があり、今後教育委員会とも協議しながら活用していきたい」と説明がありました。

『下呂市農林漁業研修施設条例の一部を改正する条例について』は、『財産の譲与について』は、桜洞集会所を平成28年7月1日付で桜洞区に譲与するものです。委員から「譲与されれば改修は地元が実施することとなるが、大規模改修をする場合のコミュニティ施設補助金の対象額は」との質問に「50万円以上です」と説明がありました。また、「桜洞区から譲与前に蛍光灯はLEDに変更してほ



桜洞区に譲与された桜洞集会所

しいとの要望があったが対応できなかったのか」との質問に「桜洞集会所の蛍光灯は、現状使えるもので、機能が損なわれたものではないのでご理解いただいた」と説明がありました。

審査の結果、付託議案4件は全て可決すべきものと決しました。また、当委員会に付託された「T・P・P協定を国会で批准しないことを求める請願」は、賛成少数で不採択にすべきものと決しました。

予算特別委員会

付託された10議案全て可決すべきものに

6月22日、委員会を開催し、付託された10議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。補正予算の主なものについて報告します。

一般会計

補正額 1億9000万円
補正後 220億4770万円

一般会計補正の主なもの

◎保育園給食施設改修工事及び給食備品購入費(わかば子ども園) 2641万円

◎保育園通園バス購入費(たけはらこども園) 845万円

◎結婚支援対策事業 49万円

◎骨髄移植ドナー助成事業 28万円

◎市立老人ホーム・介護関連施設整備事業(金山サニールランド) 1078万円

◎庁内ネットワークの個人番号制度に伴うセキュリティ対策 2433万円

◎ライフライン保全対策事業(馬瀬地域雪害倒木処理) 2746万円

9特別会計

補正額(6特別会計) 215万円
補正後 127億9573万円

3企業会計

補正額 1121万円
補正後 21億5290万円



改修されるわかば子ども園調理室

◎森林環境学習事業 19万円
◎林道改良事業(榎谷林道) 918万円
◎財政調整基金の繰入 2億2000万円



29年度から下呂振興事務所が入るため
改修される下呂市民会館1階事務室

6月22日、庁舎・振興事務所の整備と、旧下呂温泉病院跡地の計画について説明がありました。庁舎・振興事務所整備については、今年度の事業計画と進捗状況及び各施設の予算、市行政の組織再編計画について説明を受けました。旧下呂温泉病院跡地などの活用については、地域再生計画の全体構想におけるソフト、ハード両面の進捗状況と今後のスケジュールについて担当部局から説明を受けました。

**庁舎・振興事務所
整備、旧下呂温泉
病院跡地等活用
検討特別委員会**

服部秀洋市長の問責決議を賛成多数で可決

定例会最終日に服部秀洋市長に対する問責決議が、提出者4番今井政良議員と10名の賛成議員により提出され、賛成多数で可決されました。

服部秀洋市長に対する問責決議

服部市長は、就任後の2カ月間に韓国出張問題と広報紙問題を引き起こした。その行いは軽率で思慮がなく、市長としての自覚を欠いたものであると判断せざるを得ない。

韓国出張問題の新聞報道等により、市民の間に様々な憶測が生まれ、市外からも多くの不安と心配の声が寄せられた。

さらに議会に対し、韓国出張に関する報告は一切なく、6月定例会に至るまで、その事実は知らされなかった。

そのため、6月定例会では議員の一般質問で、また会期中に開かれた総務教育民生常任委員会、産業経済常任委員会、予算特別委員会において服部市長の行いと考えを問いただした。その中で、市長自ら認めた飲酒の事実、軽率な行いや市長不在時の危機管理に対する認識の甘さが明らかになった。

就任後の2カ月間は、公約実現に向けた政策立案に新市長として職員と一緒に取り組まなければならない極めて大切な期間であった。しかし、市長はこの期間に韓国を訪問し、市長自らの軽率な行いによって市政を著しく停滞させ、市民・市職員に混乱をもたらした。

議会は、今後の下呂市発展のため、これらの問題を看過することができない。よって服部市長に猛省を求め、市政の最高責任者としての責任を問うものである。

1. 服部市長は、今後、市長としての自覚を堅持し、慎重で思慮深い言動をとること。
2. 服部市長は、自らの公約である市民とともに歩む姿勢を堅持し、市民、住民活動組織、業界団体、市職員、議会等と連携・協力して、市政を運営するとともに、今回の韓国出張のような独断専行はしないこと。
3. 服部市長は、選挙公約の実現に向けた取り組みを誠実に進めること。

下呂市議会は、服部秀洋市長に対し以上の事項を遵守されることを強く求める。また、市民の付託を受けた市議会として、今後の市長の市政運営をしっかりと監視するものである。以上決議する。

平成28年6月24日

下呂市議会

問責決議(もんせきけつぎ)とは

首長や議員の不適當な発言や言動に対し、ふさわしくない、または責任を問う必要があると議会が判断した場合に提出される。過半数で可決されるが、法的拘束力はない。

一般質問 12人が市政を問う



5 番
今井政嘉議員

光インフラの整備を

Wi-Fiなどの光通信は、防災や観光などで大変重要になっています。下呂市の光インフラ整備の計画はどのようになっているのか。

◆総務部長

民間事業者に対し積極的に参入を働きかけることは、下呂ネットサービスの加入者を減らし収支を悪化させることにもつながりかねません。下呂ネットサービスの経営も考慮しながら、民間事業所の参入も進めていかなければならないと考えています。

ふるさと納税の充実

平成27年度のふるさと納税をどのように検証しているのか。平成28年より4年間、導入が期待される「企業版ふるさと納税」をどのように捉えるのか。

◆経営管理部長

昨年度よりインターネットのふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」への掲載を開始するとともに、クレジットカード払いによる寄附も可能となりました。それと同時に感謝特典の返礼品目

数も倍増させています。平成27年度は平成26年度に比べ、寄附件数が約3・6倍の721件、寄附金額は約2・3倍の1769万5千円となっています。

企業版ふるさと納税を活用する事業には国の事業認定が必要で、認定を受けた場合、その後民間企業の皆さまに計画内容をPRし、積極的に寄附を行っていただけるようお願いをしています。

移住定住政策について

①下呂市出身の大学生や専門学生を対象に市内企業就職情報を発信した事業について、検証と今後の取り組みは。

◆観光商工部長

下呂市内就職情報バンク事業は、平成27年3月に事業を開始しました。次年度以降、その効果を検証していくことになると思います。現在までに43人の学生が登録をされ、メールや郵送により市内の就職に関する情報を提供しています。

◆経営管理部長

今後の新たな地域おこし隊については、地域が求めている事項または地域の課題解決に向けた取り組みなど、地域の実情に応じて募集したいと考えています。



12 番
中島新吾議員
(日本共産党)

市民の連帯・融和をしっかりと取り組む市政を

市民の融和が徐々に進んでいるが、まだまだ越えなくてはならない課題がある。市長はどのような施策で「対話と融和のあるまち」にしようと考えているのか。

◆市長

市政懇談会という形で今まで5箇所に出向いて行っていたものを、校区ごとに細かく実施し、皆さんからのお話を聞いて今後の市政運営を進めていきたい。

振興事務所機能を強化する市政を

今の現実、振興事務所の職員も機能も縮小してきており、それが周辺地域の住民の大きな不安になっている。市長が本気で「振興事務所の機能を強化する」というなら、市の方針をどう改めるのか。

◆市長

振興事務所の位置付けはまちづくりの拠点と言うことで重要視しています。また組織の再編においても、振興事務所長は部長級という位置付けを進めていきます。現状で職員のこれ以上の削減は難し

いと考えています。そんな中まずはサービスが低下しないよう窓口をワンストップで解決できる体制を整えたいと考えています。

住宅リフォームで市民の命と身体を守る

①熊本地震では家屋の倒壊により多くの死者が出た。地震災害では、何より市民の命を守るため、住宅内の一部の部屋をシェルター化する住宅リフォームの具体化をすすめることを提案する。

◆建設部長

熊本地震を受けて、何よりも「命を守ること」を第一に考え、宅内の一室に「耐震シェルター」などを設置する補助制度の策定に向け、現在検討しているところです。

◆建設部長

同様の補助制度での復活が難しい中、なかなか進まない耐震化を推進していくためにも、耐震補強工事の補助に住宅リフォーム補助を上乗せできないか検討しています。





6 番

各務吉則議員

林業の振興策について

①木材需要に対する今後の活用策は。

◆農林部長

県内では大型製材工場、合板工場、木質バイオマス発電所が稼働したことにより、まっすぐな材から、従来山に捨てられていた低質材まで、伐採した木の元から先まで使える環境が整い、集荷の仕組みづくりを支援していきます。

②東京オリンピック・パラリンピックの競技場に使用される国産材の木材需要と、名古屋城の木造復元の計画などに、下呂市の木材の売り込みの計画は。市長のトップセールスの考えは。

◆市長

どちらの案件に関しても、動向、状況を注視し、しかるべき時期に必要があれば、私自らトップセールスに向うなど、対応したいと考えています。

御嶽高原の観光とスポーツについて

①古田知事は、5月、タイを訪れ東京オリンピック・パラリンピックに向け合宿地として飛騨御嶽高

原高地トレーニングエリアの利用をタイの観光スポーツ大臣に要望されているが、市長のトレーニングエリアに対する今後の考えは。

◆市長

現在利用いただいている実業団や大学などには継続した利用をお願いするとともに、国内の陸上以外のトップアスリートの誘致についても、力を入れたいと考えており、新たな利用促進に向けたPR活動を行っていきます。

②今後、国内外のスポーツ関係の受け入れと、市民団体や登山客の利用など宿泊が増大すると思われる。しかし濁河温泉高原スポーツレクリエーションセンターは、特に外国人に対応する個室の宿泊の部屋が無いため、必要と思われるがどのような対応策を考えているか。

◆経営管理部長

現時点では現状の施設の有効利用と可能な限りの対応の中で、利用していただくことを考えております。

③昨年完成したクロスカントリーコースの安全性を保つ維持補修策は。

◆経営管理部長

梅雨その他豪雨によるコースの破損具合も見ながら、ランニングの支障にならない範囲で止水板の設置など排水対策について検討します。



10 番

一木良一議員

小坂町大島谷橋梁整備計画の具体的なスケジュールについて

◆建設部長

大島谷橋梁整備計画につきましては、大島第2踏切拡幅工事が完了した後に、継続して事業を実施していく予定で、平成29年度には、「道路・橋梁の予備設計」を発注する予定です。

市猟友会が求める駆除処理施設の早期整備促進を

丸ごと焼却施設整備の請願における議会採択後の執行部の取り組み、その現状と停滞の理由について。

◆農林部長

冷凍個体を細分化する方法や丸ごと処理できる技術のさらなる検証を進め、有害鳥獣捕獲者の負担が軽減される方法を猟友会役員と協議しながら検討します。

市庁舎・各振興事務所耐震化の進捗について

◆総務部長

星雲会館の耐震工事は、6月3日に入札を執行しました。工期は来年3月20日となっています。未

執行の工事、業務委託についても発注計画に基づき順次進めていきます。

市長公約と所信表明について

①訪韓の公務、公費に対する認識はあったのか。

◆市長

私の認識が甘かったことで、大変ご迷惑をおかけし、関係の方々にお詫びを申し上げます。今後公務と言う部分を強く認識し、公務での懇親会などの飲酒を控え、自分を戒めていきたいと思っています。また、私の給与について今後どのようにするか検討しております。

②当選後1カ月もたたない中で、韓国まで出かける必要があったのか。

◆市長

インバウンドのお客様が増えている中で、今回韓国語のパンフレットも作成し、それとともに先方から下呂温泉祭りにお越しいただいた折に、改めて友好関係を強く結びたいと言つようなお話しもございました。その意味から韓国を訪問することは大変重要との認識で同行させていただいたのが理由です。



1 番
尾里集務議員

狩猟者（猟師）の育成・新規加入について

下呂市猟友会の高齢化と会員数の減少が課題となっている。今後、新規の加入者を増やすなど積極的に取り組む考えはないか。

◆農林部長

昨年度より市単独事業で有害鳥獣捕獲隊員いわゆる猟友会会員の増員を図る目的で、狩猟免許及び猟銃等所持許可を取得する60歳以下の申請者に対し、免許取得費用や銃の購入費用に対し助成を行っています。個人で狩猟免許の取得を考えている方がありましたら、その情報を提供いただくなど、猟友会と連携を図り対応していきます。

馬瀬中学校の統合に伴う施設の今後について

平成29年度から廃校となる馬瀬中学校の校舎・体育館・運動場などを、地域住民が有効的に活用することは可能か。

◆教育部長

体育館・運動場を有効的に活用していただくことは可能です。地

域の活性化のために地域住民の方々のご意見を十分取り入れて、より良い活用方法を協議しながら進めていきます。

下呂市の鮎のブランド化について

長良川の鮎が世界産業遺産に認定されました。益田川や馬瀬川の鮎も人気があり、多くの釣り客に認知されています。市が漁業組合などと協力して、下呂市の鮎をブランド化することはできないか。

◆観光商工部長

長良川の鮎の世界農業遺産にについては、「鮎」という漁獲資源のみならず、長良川流域に存在する鵜飼などの伝統漁法、美濃和紙といった清流につながる伝統工芸、自然と人々の暮らしが一体となった環境が認定されたものです。

鮎を鮎という食材として売ることと得られる経済効果は、限定的です。馬瀬川、益田川の美味しい鮎は、この地へ行かなければ味わえない、この地で味わうからこそ格別な食となる。という地域資源、地域の魅力とともに商品化していくことで、大きな広がりを持つことができると考えています。鮎をキーワードに、地域全体をブランド化していくような取り組みができればと考えています。



11 番
郷孝枝議員
(日本共産党)

保育料の負担軽減で子育てしやすいまちに

市長公約の保育料軽減は、子育て支援の要です。

①保育料の見直しをし、子育ての経済的負担を軽減すべきでは。

◆福祉部長

設定額については階層により異なりますが、国の基準額の約30%から60%の範囲ですでに引き下げた額での設定となっています。

②未満児も含め第2子の保育料は早急に全員半額にすべきでは。

◆福祉部長

年収約360万円未満相当の多子世帯の保育料について第2子は半額、第3子以降は無料として対応します。

③第3子の1号認定児（幼稚園児）や未満児は全員を完全無料化すべきでは。

◆福祉部長

国の段階的な軽減措置の動向を見ながら財源の確保に努め、下呂市の財政状況に鑑み検討していきます。

市長公約のUターン奨学金制度創

設、介護職奨学金制度創設の具体的中身について

①現行の市奨学金額引き上げを。

◆市長

貸付制度であり返済を前提としていますので、現行の金額を増額することは考えていません。

②Uターン就職の場合、市内居住であれば就職先が市外であっても全額返済免除にしてはどうか。

◆市長

返済の半額減免につきましては、「市内に住所を置き市内に就職すること」を条件としています。今後は「市内に住所を置く」ことのみを条件にしたいと考え、平成29年度の貸付から検討しています。

◆市長

福祉人材確保の奨学金制度の創設、処遇改善に向けた仕組みづくりなど早急に方策を立てるよう担当部に指示しました。

市長公約の学校給食費軽減の具体的中身と実施の時期は

◆市長

学校給食費の軽減を恒常的に行うためには、新たな財源を確保することに加え、現在実施している事務事業の精査と見直しが必要と考えます。時期などにつきましては未定ですが、出来るだけ早い時期に実施したいと考えています。



3 番
田中副武議員
(公明党)

防災について

阿寺断層帯の地震に対しての対策を早急に推進するために。
①緊急輸送道路や橋梁の耐震化進捗状況と今後の計画は。

建設部長

緊急輸送道路に指定された市道は24路線あります。緊急性を要する橋梁から順次耐震補強工事を行っていく計画で、現在は市道湯之島1号線に架かる「下呂大橋」の耐震化工事を施工しており、本年度には対策を完了する予定です。
②「国土強靱化地域計画」についての考えを再度伺います。

総務部長

熊本地震を受け会議を開催し、机上の計画ではなく、実効性のあるマニュアルの作成と、何よりも職員、市民への危機管理意識の周知が大切であると改めて感じました。

若者の政策参画について

18歳選挙権が実現する夏の参議院選挙を前に、若者の政治的関心を高める取り組みが始まっています。

下呂市においても、「若者議会の開催」や「まちづくりなどの審議会委員に、若年層人員の起用」など検討してはいかがでしょうか。

経営管理部長

若い方が意見を言う機会を広げるだけでなく「自分事」として行動につながる取り組みとすることが重要ではないかと考えます。この点を重視して今後の取り組みを進めていきたいと思っています。

今後の市政について

①平均所得が252万0803円で県内40位という状況の分析と対策について伺います。

観光商工部長

1人あたりの市民所得を平成31年度までに256万6千円に引き上げる具体的な目標を、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に盛り込んでいます。

②「女性が輝けるまち」をリードする村山副市長にその思いを伺います。

副市長

女性目線で女性の特徴として持ち合わせている繊細さが、仕事においても必要と思う局面があると思います。しかし女性は出産子育てをする時期がありますので、下呂市の少子化対策の支援が非常に大切であると考えます。



2 番
中島ゆき子議員

庁舎・振興事務所の整備について

①庁舎・振興事務所の耐震化に向けて、現在の状況はどうなっていますか。

総務部長

平成28年度当初予算には星雲会館の耐震工事、下呂総合庁舎と下呂市民会館の改修工事、さらには下呂庁舎、小坂・馬瀬振興事務所の耐震補強計画の策定など総額4億3400万円を計上しています。

②下呂庁舎は耐震補強により使用可能年数は何年となりますか。

建設部長

下呂庁舎は、築後50年を経過しているものの、少なくとも15年、20年以上は使用可能と判断しています。

③合併特例債を活用し、下呂庁舎を新築する考えはありませんか。

総務部長

下呂庁舎の新築による整備については、これから庁舎整備計画を見直し、市民の皆さんのご理解をいただいた上で、用地の確保、基本設計、実施設計、建設工事と

進めなければなりません。こうした過程が順調に進んだとしても、合併特例債の利用期限である平成30年度には間に合わないと考えます。

金山地域における光回線の設置について

金山地域は光回線が整備されていません。他の地区と比べサービスの格差がありますが、どのように考えていますか。

総務部長

金山地域の光ケーブル改修には、指定管理者からの提案で、概算で5億6億円かかる見込みです。下呂ネットサービスの今後のあり方を含め、改善を検討したいと考えています。

食品ロスを減らすための取り組み推進について

①旅館業界における食品廃棄物の削減に向け、市は取り組みを行っていますか。

環境部長

ここ4年間の比較をしますと、旅館業界などから受け入れた食品残量は、平成24年度に対し平成27年度で79t減少しています。また、全体量に対しても0.5%減少しています。この減少量は、各業界の皆さんが減量対策に努力された成果ではないかと思っています。



4 番

今井 政良 議員

主要地方道、一般県道の進捗と、竹原基幹農道第3期工事について

◆建設部長

主要地方道下呂白川線は、門和佐大野地内の720mの区間で道路整備を進めています。一般県道門和佐瀬戸線は二ノ樽工区500mの区間においてバイパス部分の道路整備工事、さらには、上流側橋梁の下部工についても工事に着手できる見込みです。一般県道田口洞線は市道と川12号線の道路改良と併せて計画をします。

・一般県道兼政停車場線の改良工事及び舗装工事計画について。

◆建設部長

宮地地内において右折レーンや歩道の設置、山側の落石対策を行う交差点改良工事に着手する計画で、今年度は用地測量を行う予定です。舗装工事は、今年度予定されている区間はありますが、必要な箇所は要望していきます。

・竹原基幹農道第3期工事の計画。

◆農林部長

今年度は残り約1500mの測量設計を行う予定です。完成は、

今のところ平成32年度の予定です。ソフト事業については協議しながら、施設整備を考えます。

市長の公約である高齢者と子育て世代に向けた福祉政策強化内容の実現について

①老人ホーム待機者ゼロに向けた取り組みについての方策と財源は。

◆市長

下呂市第6期介護保険事業計画では20床の増床を計画しています。在宅介護の支援対策も視野にいれながら、待機者ゼロに向けて努力していきます。

②子育て世代の負担軽減のため学校給食費の軽減をはかるとされているが、軽減の詳細と実施時期、その財源は。

◆市長

学校給食費の軽減を恒常的に行うためには、新たな財源を確保することに加え、現在実施している事務事業の精査と見直しが必要となります。時期などについては未定ですが、出来るだけ早い時期に実施したいと考えています。

③未満児保育料の半額助成を行うべきと考えますが、市長の考えは。

◆市長

保育料の軽減は施策としては有効ですが、それと同時に財源をどう確保していくかの課題もあり、子育て支援策を総合的に判断しながら検討します。



9 番

伊藤 徹悟 議員

太陽光発電施設の設置について

◆建設部長

太陽光発電施設に限った設置基準などはありませんが、土地開発協議の対象となる案件については1000㎡以上のものが対象となります。

②景観について。

◆建設部長

太陽光発電施設など再生可能エネルギーの推進をしていく必要がありますが、その反面、景観を阻害されるような大規模な開発も行われています。設置要綱や景観形成基準について研究をします。

③農地法について。

◆農林部長

市内で農地に設置する転用案件は、平成25年1月から平成28年6月までに31件ありました。

④課税項目は。

◆市民部長

太陽光パネルを設置して売電する場合、設置した太陽光パネルなどの設備は固定資産税の家屋もしくは償却資産の対象です。

市長の韓国儒城出張の経過について
①その目的は。

◆市長

昨年、儒城から訪問いただき、今回、招待を受けたことに伴う表敬訪問の意義。選挙の公約でもあったトップセールスとしての役割。過去の経緯と今後の交流の促進。この3点を目的に出席したものです。

②出張費用は。

◆市長

出張費用は海外出張の日当3日間で1万円。往復の飛行機代として下呂温泉観光協会へ負担金として支出する分が4万4500円。合計で私の分として5万4500円が公費で支出されています。

③海外出張時の危機管理について。

◆市長

災害時を想定した危機管理は、携帯電話を利用すれば、いつでも連絡が取れますので、例えば、豪雨などによる土砂災害発生が高まった場合の避難勧告など、適切な指示が出せると考えています。

④危機管理について日本を離れる時のルール説明だけでなく、もっと具体的に説明を。

◆市長

危機管理につきましては儀礼的と申しますか、そのままでのことを述べた訳でございます。1年のうちにしっかりとした方向性を出して皆さんに説明できるよう進めたいと考えています。



7 番
宮川 茂 治 議 員
(日本共産党)

高齢者対策と老人ホームの取り組みについて

下呂市も少子高齢化が進んでいる中、高齢者に対しての取り組みが必要となっている。その中で、特に老人ホームへの入所希望者が非常に多く、年金のみの収入の方は入所費が高く入りにくいとも聞く。年金収入のみで入れる施設がほしいと要望を聞いているが、市として今後その問題にどう取り組むのか。

◆福祉部長

年金収入の金額にもよりますが、現在ある福祉制度の中、生活保護制度の活用、家族親族の支援も併せてご相談いただきながら、個々のケースに合わせた対応が必要になってくると思われます。

◆介護福祉施設問題について

高齢者や障がいのある方、一人暮らしの人など介護福祉施設を利用する方は増えているが、その施設で働く方（世話人）が不足していると聞く。就労者不足の問題と労働賃金の件についてどう考えるのか。

◆福祉部長

介護の仕事は、従来から3K（きつい、汚い、危険）と言われる人材確保が難しく、給与水準は全産業平均より10万〜11万円低い状況です。国では介護人材確保地域戦略会議により、①潜在介護人材の呼び戻し②新規の方の採用③介護の職場の改善に重点を置きながら施策を進めているところです。介護職の処遇改善もありますが、地域で介護を支えるという視点から、介護職への理解を深めること、介護サービスの安易な利用を抑制するなど違う視点から必要と考えます。

◆下呂病院の通院バスについて

下呂温泉病院行きのバスは「経路や時間などに問題がある」と病院に通院される方々から話を聞いている。その点について内容を調査し、改善する考えはあるのか。

◆経営管理部長

利用される方々のご要望やご意見、JRRのダイヤ改正等に対して、濃飛バスや下呂温泉病院との意見交換を密に行いながら、よりよい運行経路やダイヤ改正を考えていますので、ご理解いただきたいと思います。



13 番
中島 達 也 議 員

新市長の行政運営について

多くの行政課題が山積みする中で、市長ご就任に敬意を申し上げ、その決意を伺います。

①下呂市の現状をどう把握され、課題をどのように捉えてみえるか。

◆市長

下呂市を取り巻く状況は、少子化、生産年齢人口の減少、高齢化といった問題を抱えており、将来の市政運営に大きく影響する課題です。とりわけ福祉・医療と言った社会保障に関する事項、生産年齢人口の減少による経済活動の低迷、事業継続に向けた人手不足、公共インフラの維持など多種多様な影響が懸念されます。私は、20年後、30年後の下呂市の姿をしつかり見据えながら、今ある市内の自然・文化・歴史など、多彩な地域資源を守り育てます。また「まちづくりは人づくり」という考えのもと、ふるさとを愛する豊かな心を育み、まちの魅力を高めることで、このまちを好きになり、誰もが幸福を感じられる、若い方々が将来も住み続けたいと思える

るまちづくりを目指します。

②マニフェスト130万人に向けての施策は。また急増する外国人観光客の対応は。

◆市長

下呂温泉以外の宿泊者数は、14万〜15万人は可能と思われるます。下呂温泉に115万人を超える宿泊者があれば、130万人は実現可能な数値だと考えております。これは、まち・ひと・しごと創生総合戦略においても平成31年度の目標値としていわれています。ポイントを絞ると広域連携、着地型観光、「下呂市版DMO」の構築が後押しになると思います。

③巨大組織をまとめていくには、副市長の役割も大きいと思うが、所見を。また女性としての視点とは。

◆副市長

職員をまとめていくことについては、上司と部下との連携、信頼関係であると思います。職員皆が動きやすいところが大事ではないかなと思っています。報告、連絡、相談を密にすることが仕事の精度を高めていく基本的なところだと思います。今後行政運営の中でバランスのとれた持続可能な下呂市を職員一丸となって進めたいと思います。

議会を傍聴して

予算特別委員会を傍聴された方からご意見をいただきました。内容の一部を紹介します。

『(前略) 昨日は予算特別委員会を傍聴させていただきありがとうございました。急ぎよ誘われた傍聴でしたが、初めて委員会の質疑応答を大変興味深く拝聴しました。(中略) もう1つ興味深かったのは、起業創業支援で空き店舗の家賃補助。これまで空き店舗の空き店舗だけだったものを、空き家にも広げ支援してくださるのは、起業の多い30代には少しはハードルが低くなるかなと。Uターン者だけでなくイターン者が実現できれば大変喜ばしいこと。』

今回から18歳にも選挙権があり今参議院選挙はあまり身近ではないかもしれませんが、身近な市長市議選や、議会傍聴をすればきつと選挙権を使います。(中略) 高校生の議会傍聴は教育としても非常に有意義と思われます。実現して高校生の意見を聞きたいものです。(後略)』

機会があればみなさんも是非傍聴ください。

9月定例会会期日程

9月定例会の会期日程をお知らせします。なお一般質問等の内容は新聞折り込みでお知らせします。

9月	
5日(月) 10時	本会議(初日) 提案説明など
15日(木) 10時	本会議(一般質問)
16日(金) 10時	本会議(一般質問)
20日(火) 9時30分	総務教育民生常任委員会
21日(水) 9時30分	産業経済常任委員会
23日(金) 9時30分	予算特別委員会
26日(月) 9時30分	決算特別委員会
27日(火) 9時30分	本会議(最終日)
28日(水) 9時30分	本会議(最終日)
30日(金) 10時	本会議(最終日)
31日(土) 10時	本会議(最終日)

※日程は変更になる場合もあります。

開かれた議会をめざして

下呂市議会では、次のような取り組みを行っています。

- ① 本会議における傍聴(委員会は、委員長の許可により傍聴できます)
- ② 定例会のお知らせチラシの配布(新聞折込)
- ③ 一般質問のケーブルテレビ生放送・録画放送(ケーブルテレビ加入者のみ)
- ④ 一般質問録画DVDの貸し出し
- ⑤ 本会議議事録の閲覧(ホームページに掲載)
- ⑥ 下呂市ホームページに市議会情報を掲載(下呂市ホームページ→議会)
- ⑦ 各議員の議案に対する賛否を明記

今後市民の皆さまに様々な方法でお伝えし、開かれた議会をめざします。議会へのご意見等ございましたら、議会事務局までお知らせ下さい。

◆下呂市議会事務局 電話 24-22222 FAX 25-2833
e-mail gikai-02@city.gero.lg.jp

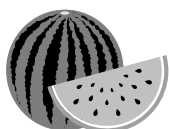
編集後記

4月に行われた市議会議員選挙により、新しい議会が誕生しました。議会報編集特別委員会も新体制となり、ベテラン議員3名、新人議員2名の計5名で活動が始まりました。

8月1日の発行を目指して、短い期間の中で、議員の皆さんに次々と原稿をお願いしました。

委員会では、掲載内容の見直しや原稿のチェックなど、たびたび話し合いをしました。議会活動を正確に伝える議会報の編集作業は、大変重みのあるものでした。

次号も充実した内容となるよう、委員一同努力いたします。



議会報編集委員 Y. N